

講義録レポート

講義録コード

03-22-4-02-[3] - [0] [4]

講座	税 理 士	科目	財務諸表論
目標年	2022年合格目標	テキスト	No. (3)
コース	基礎マスター	回数	第 (4) 回
用途	ビデオブース WEB通信 ・ DVD通信 ・ Webフォロー ・ 音声DLフォロー		

収録日	2021 年 10 月 21 日		
講師名	的場 宏大 先生	板書	5 枚 ※レポート含まず (名称/該当教材)
		その他	2 枚 補助レジュメ (名称/該当教材)
			枚

授業構成	講義 ⇒ 講義 ⇒ 講義
	ミニテスト解説 売買目的有価証券 満期保有目的の債券
	満期保有目的の債券 子株・関連会社株式 その他有価証券
	その他有価証券 減損処理、売買の認識 剰余金の配当

実施テスト	【 ● 】ミニテスト	テキストNo.(3)第(4)回	テストでの正誤
	【 】実力テスト		
	【 】その他 ()		【 】あり 【 ● 】なし
	【 】なし		【 】問題
	実施時間 (10) 分		【 】解答用紙
			【 】解答解説

使用教材	【 ● 】基本テキスト	No.(3)	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください
	【 】トレーニング	No.()	【 】理論テキスト
	【 】ポイントチェック		【 】その他()

配布教材	【 】基本テキスト	No.()	【 】ポイントチェック
	【 】トレーニング	No.()	【 】理論テキスト
	【 】トレーニングシート	No.()	
	【 ● 】テスト帳合レジュメ	《講義録添付なし》	(補助問題・解答)
	【 】別途配布レジュメ	《講義録添付あり》	()
	【 】その他	()	()

備考	* ビデオブースにてご視聴の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認下さい。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)		

補助レジュメ：No.3－4

◎ 金融資産の評価に関する基本思考

金融資産とは、現金預金、受取手形や売掛金等の金銭債権、有価証券、デリバティブ取引により生じる正味の債権等をいう。

- ① 金融資産は、一般的には、市場が存在し、客観的な価額として時価を把握することができる。
- ② このような特性を持つ金融資産は、「投資情報」、「企業の財務認識」、「国際的調和化」の観点から時価評価すべきである。
- ③ しかし、時価評価することが馴染まない金融資産もあることから、保有目的を考慮したうえで評価を行う必要がある。

◎ 保有目的に応じた有価証券の評価

	評価	評価差額
売買目的	時価	P/L 損益
満期保有目的	取得原価 or 償却原価	テキスト参照
子・関連株	取得原価	—
その他	時価	B/S 純資産

◎ 洗替法と切放法（参考）

	取得		期末	翌期首	売却
(1) 洗替法	1,200	⇒	1,500	→ <u>1,200</u>	売却益 500 取得原価に戻す
(2) 切放法	1,200	⇒	1,500	→ <u>1,500</u>	売却益 200 前期末時価のまま

◎ 償却原価法

ex) 発行価額 80（額面 100）の社債を取得



補助レジュメ：No.3-4

◎ その他有価証券（仕訳のイメージ）

ex) 取得原価 100 → 時価 200

(1) 仮に評価差額を
損益にした場合

P/L	B/S
収益	繰上利益剰余金
法人	
法調	純資産

(2) 実際の仕訳

P/L	B/S
収益	繰上利益剰余金
法人	
法調	純資産

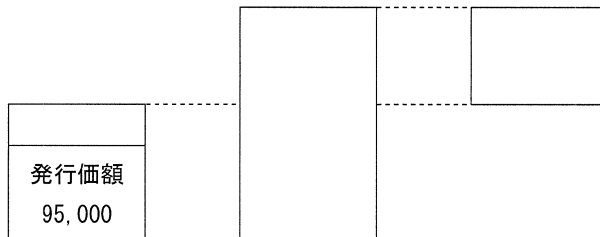
参考 税効果会計の目的

P/L の視点…法人税等と税引前当期純利益を期間的に対応させること

B/S の視点…将来の法人税等の支払額に対する影響を表示すること

◎ その他有価証券（債券の場合）

⇒ ①先に償却原価法を適用し、②その後到时価評価を行う。



◎ 剰余金の処分による配当を受けた場合

ex) 100%子会社であるA社から、その他資本剰余金を原資とした配当を受けた。

当社B/S	
関株 1,000	資本 1,000

A社B/S	
現金 1,000	資本 1,000

税 理 士 講 義 録	コース・講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第4回

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場 先生
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		

黒 板 内 容

② ミニテスト

繰	法	
T/B 7,600 7,600	7,600	実現損益に準ずる
1,800	1,800	
7,200	7,200	
1,650	1,650	

(1) 貸付け $10,000 \times 1.5\% \times 10年 = 1,500$ ← 同じ条件

(2) 社債保有 $(10,000) \times 1.0\% \times 10年 = 1,000$ } 1,500
 ↓ 1.5% 割引分 500 } 利息的性格
 9,500に割引いて発行 ↓ 各期に配分

② 償却原価法 (P.51)

金利相当 20

金利相当 20

有価 80

有価 80 / 現 80

1 期末

10

80

有価 10 / 有利 10

2 期末

10

10

80

有価 10 / 有利 10
現 100 / 有価 100

現 100 / 有 80

~~有 20~~

税 理 士 講 義 録	コース 講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第4回
-------------	------------	--------	--------	-------	--------	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		先生

黒 板 内 容

① $9,130 \times 10\% = 913 \dots (a)$

② $10,000 \times 6.5\% = 650 \dots (b)$

③ $(a) - (b) = 263 \dots (c)$

(b) 現預 650 / (a) 有利 913

(c) 投有 263 /

② その他有価証券 (P.64) 100 → 200

(1) 仮に評価差額
を損益に込め場合

投有 100 / 損益 100
法調 40 / 繰負 40

P/L	B/S
収益 100	将来税金 支払額 40
法人 0	
法調 40	
60	60 ← 正味ストック される金額

対応

(2) 実際

投有 100 / 評差 100
評差の調整 / 繰負 40
40

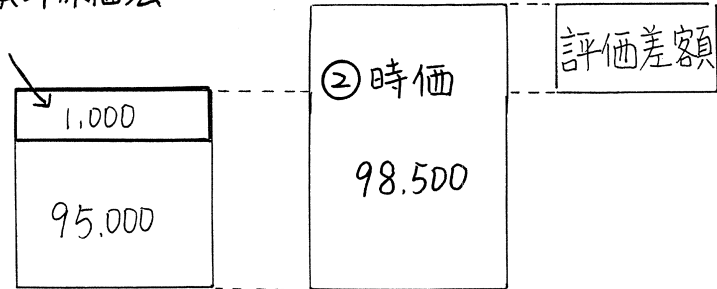
P/L	B/S
収益	40
法人	40
法調	100 60 → 評差 100 40

税 理 士 講 義 録	コース・講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第4回

配布物	★テスト類： []	講 師	的場 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

① 償却原価法



	1,600 (G)	← 繰負
(E) 1,800	2,400 (G)	← 評差
(E) 1,200		← 繰資

繰		法	
xxx	1,600		xxx
xxx			xxx
⋮			⋮
評差			
	2,400		

税 理 士 講 義 録	コース・講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.3 第4回
-------------	---------	--------	-----	-------	-----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		先生

黒 板 内 容

発行会社の純資産×株式保有割合

◎ 剰余金の処分による配当 (P.88)

当社 B/S	A社 B/S								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>関株</td><td>資本</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>1,000</td></tr> </table>	関株	資本	1,000	1,000	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>現金</td><td>資本</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>1,000</td></tr> </table>	現金	資本	1,000	1,000
関株	資本								
1,000	1,000								
現金	資本								
1,000	1,000								
現100 / 配当100 関株	資本100 / 現100								

税 理 士 講 義 録	コース 講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回	テキストNo.3
					数	第4回

配布物	★テスト類：	[]	講 師	的場 先生
	★その他の配布物1：	[]		
	★その他の配布物2：	[]		

黒 板 内 容

Timeline diagram showing financial events:

- Point 1: 有価100/C100
- Point 2: 配当 C20/ 後配20
- Point 3: 期末 損益20/有価20

Annotation: トレーディングの成果として開示 (Disclosure as trading results)